平成２１年度にふるさと納税制度により鳥取県にいただいた寄附金について、以下のとおり報告します。

1　平成21年度に寄附金をいただいた実績

平成２０年４月から「ふるさと納税制度」がスタートし、平成２０年度には８６件、４，１７９，４７０円、平成２１年度は５５件　３，４０１，６００円の寄附をいただきました。

2　寄附金の活用方法

皆様からいただいた寄附金については「鳥取県こども未来基金」として、鳥取県の次世代を担う子どもたちの生きる力を培うために、次の事業に活用させていただきました。

なお、事業の概要、事業参加者等からのコメントは、次頁以降に紹介させていただいております。

○子どもたちへの本の贈りもの　（１，７００，８００円）

・県立図書館の児童図書（ふるさと納税文庫）の購入など

○Ｌｅｔ｀ｓジュニアスポーツ　（１，７００，８００円）

・ジュニア選手の発掘・強化

・中学校・高等学校の運動部活動の強化支援

■子どもたちへの本の贈りもの（図書館運営費）

事業概要

・市町村図書館や学校図書館が購入する本を選ぶ際の参考としてもらうため、出版後１年以内の児童図書を購入しました。
・市町村図書館と共同で、子どもの図書に関わる方を対象に「子どもの本の講座」を開催し、「子どもの本を手渡す大人」を育てる取り組みを行いました。
・市町村図書館を訪問し、実態に即した支援、協力を行いました。

事業参加者等からのコメント

・小さい頃はあまり本を読んでいなかったが、この図書館に行くようになり、多くの本を読むようになった。(小学校低学年)
・たくさんの本があり、いろんな種類の本を読んでいくうちに本が好きになった。(小学校低学年)
・家族、兄弟、友達を誘って一緒に図書館に行き勉強していきたい。(小学校低学年)

■Ｌｅｔ｀ｓジュニアスポーツ（運動部活動推進事業）

事業概要

・中学校、県立学校の運動部に地域の指導力のある方を外部指導者として招き、運動部活動の充実を図りました。
・外部指導者や部顧問を対象に発育・発達段階に応じた指導方法の研修会を開催し、指導者の資質の向上を図りました。

事業参加者等からのコメント

・この寄附金を活用し外部から指導者を招くことができたことで、部活動のレベルが上がった。(鳥取東高校他)
・外部指導者の指導による技術の向上で、目標が、インターハイへの出場から、インターハイでの入賞になっている。(米子工業高校)
・外部指導者を招いたことで、部活動の顧問の知識、技術等も確実に向上している。(鳥取西高校他)

■Ｌｅｔ｀ｓジュニアスポーツ（競技力向上対策事業）

事業概要

・中、高校生の競技力向上のための事業の充実や、ジュニアクラブチームの育成・支援など優秀な選手の発掘や強化に取り組みました。

・小、中、高の指導者合同講習会の開催や、国内外の優秀なコーチをアドバイザーコーチとして招くなど、指導者の資質向上を図りました。

事業参加者等からのコメント

・指導者への謝金や、大会参加に伴って発生する交通費の一部に充てることによって、参加者等クラブ側の負担の軽減となっており大変ありがたい。
（体操クラブ、レスリングクラブ他）

・全国大会等に出場することによって、競技力がかなり上がってきた。
（体操クラブ他）

・全国大会で入賞者を輩出するレベルまで達してきている。（テニスクラブ他）

3　寄附をいただいた皆様からの応援メッセージ

寄附をいただいた方々から数々の応援メッセージをいただいておりますので、主なものを紹介させていただきます。

・二人目の孫が鳥取で生まれました。鳥取県の子どもたちの生き生きとした未来に少しでも貢献できればと思います。（奈良在住）

・鳥取で生まれ育ったから今の自分があると思います。県外に移住していますが、何らかの形で鳥取県に貢献できればと思います。
（岡山在住）

・鳥取県の活性化を期待しています。
（東京在住）

・就職活動期間に鳥取で働く機会もありましが、結局東京で勤務することに決めました。
現在は、関東で働いておりますが、何かしらの形で鳥取に貢献できればと思います。（東京在住）

・鳥取県の子どもたちの生き生きとした夢のある未来を願っています。（奈良在住）

・地方自治がどう変わっていくかはわかりませんが鳥取県の動向に期待しております。（東京在住）

・魚はおいしいし、生水飲めるし、野菜も豊富！
鳥取の良いところ、たくさんあります！
（京都在住）

・いい風土、大切にしつつも、少しでも経済が盛り上がればいいなと願っております。
（東京在住）

～寄附をいただいた皆様、本当にありがとうございました。～